

環境汚染への取り組み



三井物産は、環境方針に環境関連法規の遵守を掲げ、化学物質の大気排出量、汚水、土壌汚染等の削減につながる取り組みを推進しています。

当社の取り組み

活動

SDGs: 3.9、6.3、12.4、14.1

目的	取り組み内容
排ガスの無害化による大気汚染の防止	トラック、バスの排ガスに含まれる窒素酸化物を水と窒素に無害化する「AdBlue®」販売元として、当社子会社の三井物産プラスチックが、全国に物流拠点・インフラを構築・拡充
鉱業用水の処理	鉱山操業で使用する水の適切な処理
運搬船による大気汚染の削減	SOx・NOx排出量の大幅抑制につながる船舶の発注増等、世代交替を推進
肥料投入量最適化による土壌汚染の削減	衛星写真による農地の植生分析・農地の形状把握、収量トレンドや土壌成分の分析結果のデジタルマッピングと肥沃度分析、トラクターによる自動施肥やシステムでの施肥作業のタイムリーなモニタリング等、デジタル技術を活用することで化学肥料の適正散布による土壌品質の安定化、土壌汚染削減を推進

海洋汚染削減に向けたイニシアティブ、クリーン・オーシャン・マテリアル・アライアンス(CLOMA)へ参画

CLOMAは、地球規模の新たな課題である海洋プラスチックゴミ問題の解決に向け、プラスチック製品の持続可能な使用や代替素材の開発・導入を推進し、イノベーションを加速するため2019年1月に設立され、当社は幹事会社26社の一社になっています。CLOMAには、当社および子会社の三井物産プラスチック株式会社、三井物産ケミカル株式会社、三井物産パッケージング株式会社を含めた250社・団体(2019年8月9日時点)が参画しています。

Circular economy for flexible packaging (CEFLEX)への参画

CEFLEXは、欧州の包装用フィルム業界における循環型経済実現のためのガイドライン設計と、使用済包装フィルムの回収・分別・リサイクルのインフラ構築を推進するコンソーシアムです。包装用フィルムのバリューチェーンに関わる120社以上から構成されており、当社も参画しています。

汚染の削減および回避への取り組み～放射性物質に関する対応

当社在米国100%子会社が米国でウラン精鉱を売買していますが、取扱量・金額は全社的に見れば極めて小さい規模となっており、実際の商品は物理的な移転を伴わず倉庫から動きません。在庫寄託先は放射性物質の取扱許認可を米国原子力規制委員会から得ており、倉庫の従業員に対する放射性物質の管理や被ばくリスクに関して同委員会の管理基準に厳格に従った運用を行っています。また同在庫寄託先は同委員会より定期的な査察を受けています。そのため当該子会社が保有するウラン精鉱が周辺に与える環境や被ばくのリスクは極めて限定的であるといえます。取り扱うウラン精鉱はすべて民生の発電用途等平和利用を目的としており、同委員会の規制を遵守しています。なお、当社および当該子会社は同委員会の管理基準(放射性廃棄物を含む)を遵守した取り扱いを徹底していますが、放射性廃棄物については一切取り扱っていません。